

■組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的障害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・浴室用連窓方立に張り付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
・説明書内に記載してあるシーリング箇所には、必ずシリコン系シーリング材（別途）で処理してください。

■お願い

●アングル皿木ねじには、別売りのコーキングワッシャーを使用してください。

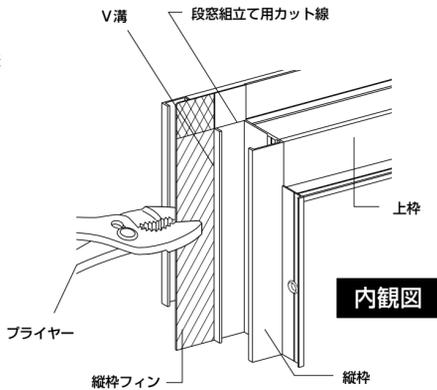
●ねじ一覧表…図中の①～④は、ねじの種類を表します。

①	④
②	③
コーキングワッシャー付き 皿小ねじM4×10	ナベタッピン ねじφ4×30

■組立て手順

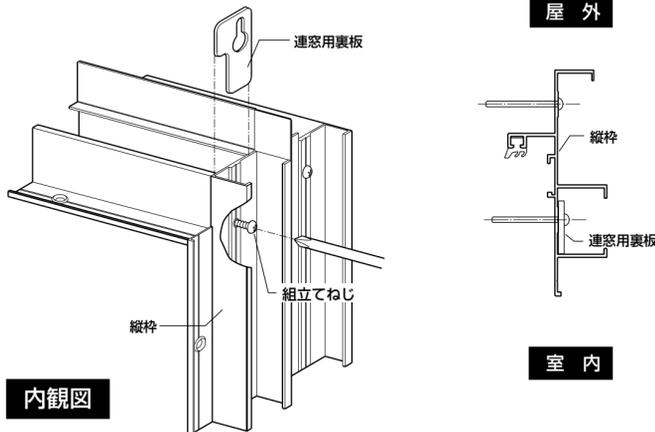
1 縦枠フィンのカット

- ①連結する側の縦枠フィンのV溝にカッターで1～2回スジをつけます。
- ②プライヤーでまず  部を、次に  部を折り曲げながら取り去ります。



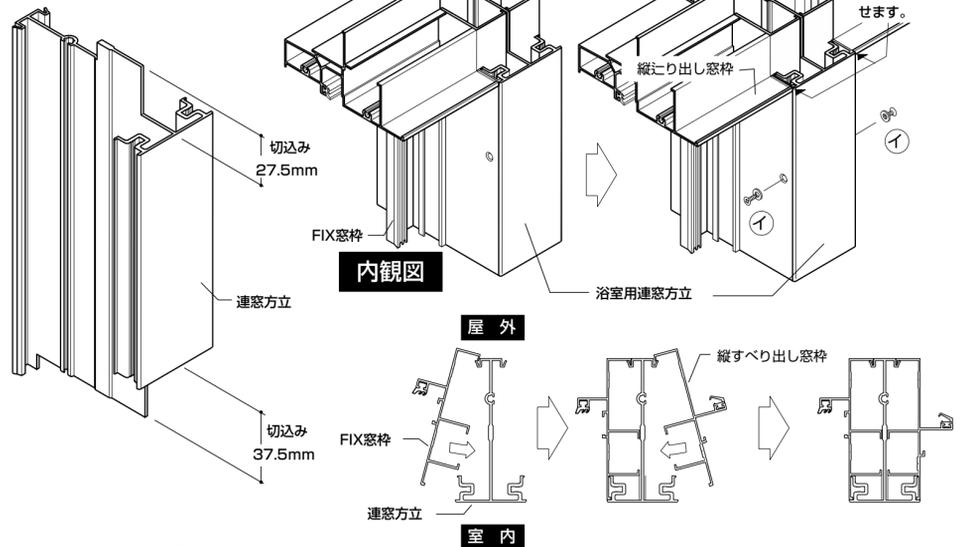
2 連窓用裏板の取付け

- ①連結側縦枠上下の室内側組立てねじをゆるめます。
 - ②ゆるめたねじ頭に連窓用裏板の丸穴を引っ掛けてスライドさせ、ねじを締め直してください。（裏板は上下、左右、品種によらず共通です）
- ※外倒し窓上部は、専用裏板がついているので連窓用裏板は使用しません。



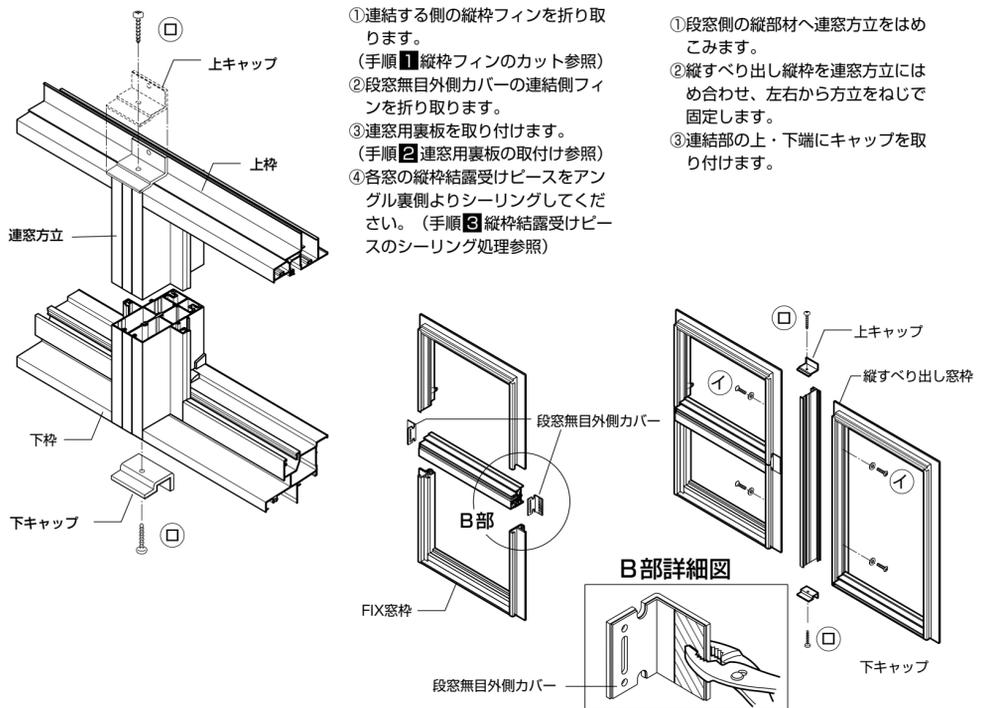
4 連窓方立との連結

●浴室用連窓方立を連結する前に、方立の上・下を確認してください。



5 上・下キャップの取付け

●連結部の上・下にキャップを取り付けます。
※キャップには上・下があります。



■連段窓の場合の組立て

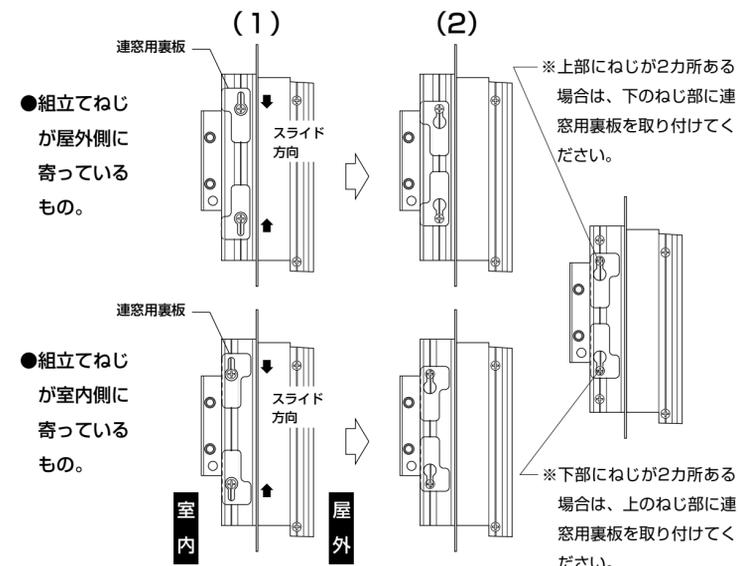
※段窓部の組立て詳細は、段窓無目の組立て説明書をご覧ください。

縦枠段窓用カバーのカット

- ①連結する側の縦枠フィンを折り取ります。（手順1 縦枠フィンのカット参照）
- ②段窓無目外側カバーの連結側フィンを折り取ります。
- ③連窓用裏板を取り付けます。（手順2 連窓用裏板の取付け参照）
- ④各窓の縦枠結露受けベースをアングル裏側よりシーリングしてください。（手順3 縦枠結露受けベースのシーリング処理参照）

浴室用連窓方立との連結

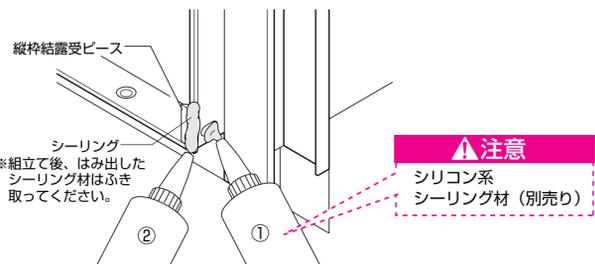
- ①段窓側の縦枠材へ連窓方立をはめこみます。
- ②縦すべり出し縦枠を連窓方立にはめ合わせ、左右から方立をねじで固定します。
- ③連結部の上・下端にキャップを取り付けます。



- (1) 連結する側の組立てねじ（室内側）上・下2箇所をゆるめます。
- (2) ゆるめたねじに連窓用裏板の丸穴を引っかけて、スライドさせ、ねじを締め直してください。（連窓用裏板は必ず矢印の方向にスライドさせるように取り付けてください。）

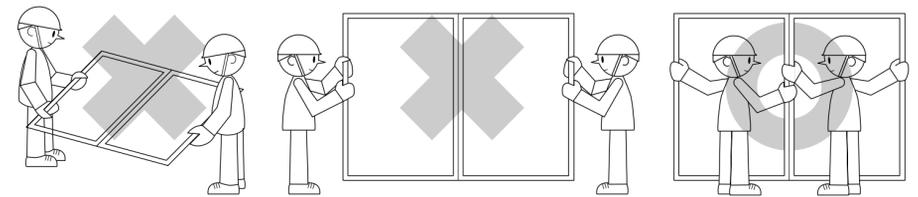
3 縦枠結露受けベースのシーリング処理

- ①アングル裏側から縦枠結露受けベースの足と取付け穴が完全にふさがるようにシーリングしてください。
 - ②アングルと縦枠結露受けベースの間にシーリングしてください。組立て後、はみ出したシーリング材をふき取ってください。
- ※連窓方立と反対側の縦枠も同様にシーリングしてください。
※浴室連窓方立には方立結露受けベースはつきません。



■組立て後の取扱いとお願い

- 組み立てた後、サッシ枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけると枠が変形するおそれがあります。
- 移動する場合は、立てたまま方立部分をしっかり支持してください。



■施工上のお願い

- サッシ窓を浴室に使用する場合には、サッシまわりは必ずシーリング処理をしてください。
- 浴室用連窓方立部以外のアングル皿木ねじには、別売りのコーキングワッシャーを必ず使用してください。

▲注意
●サッシのまわり（□部）シリコン系シーリング材にて必ずシーリングしてください。

